

平成 22 年度第 1 回氷見市行政改革推進市民懇話会会議録

- 1 開催期日 平成 22 年 5 月 20 日（木）
- 2 開催場所 市役所 5 階第 2、第 3 委員会室
- 3 会議時間 午後 3 時～午後 4 時 10 分
- 4 出席委員 上野隆子、川上修、姫野貞夫、前田利寛、村江省三、森本太郎、屋敷夕貴、山岸教男、山下金次郎、鳥内雅弘、小堀正夫、田中英雄、嵩尾憲昭、釣賀節子
- 5 欠席委員 七尾雅周、浦野良一、佐藤泰樹、藪田雅彦
- 6 市出席者 堂故茂(市長)、棚瀬佳明(副市長)、前辻秋男(教育長)、甲井勇紀夫(企画広報室長)、金谷正和(総務部長)、東海慎一(市民部長)、江添良春(建設部長)、干場光邦(産業部長代理 商工観光課長)、山崎外美雄(教育委員会事務局理事)、有島良信(消防長)、濱井博文(総務課長)、廣瀬昌人(財務課長)、七田克行(総務課主幹)、草山利彦(財務課主幹)ほか
- 7 傍聴者 市議会議員 1 名
- 8 案 件 (1) 配付資料の説明
(2) 質疑応答、意見交換

< 協議資料 >

資料 1 氷見市行政改革推進市民懇話会設置要綱の一部改正について

資料 2 氷見市集中改革プラン（実施計画）について

9 会議録

発言内容	
会長	定刻になりましたので、ただいまから氷見市行政改革推進市民懇話会平成 22 年度第 1 回会議を開催いたします。 本日の会議は 1 時間程度を予定していますので、よろしくお願いいたします。 最初に委員についてですが、手元の委員名簿をご覧ください。委員数が 18 名

となっていますが、このことについては本日の協議事項として、後ほど事務局から説明がありますので、ご了解いただきたいと思います。

それから委員の交代については、氷見市青年会議所理事長として村江さんが、連合の氷見地区協議会議長として鳥内さんが新たに委員になっていただいています。

また連合婦人会の会長が交代されたので、新会長の屋敷さんに本懇話会の副会長をお願いしたいと思っています。屋敷さん、どうぞよろしく願いいたします。

なお、本日は浦野委員、佐藤委員、藪田委員が欠席になっています。

今日は皆さん、お忙しいところご出席いただきまして誠にありがとうございます。

今年の行政改革推進市民懇話会ですが、パート Ⅰ というのは初めてです。集中改革プランの 19 年度から 21 年度まで、大変な苦勞で計画に基づき実施されたわけですけど、この結果については決算終了後、7 月か 8 月ぐらいにまた皆さんにご説明していただく機会を作りたいと思っていますが、本日は氷見市集中改革プランのパート Ⅰ についてご協議いただきます。

平成 22 年度からの 5 年間あります。小泉政権から三位一体、地方の厳しい時代がやってきて、政権交代でちょっとは良くなるのかなと思ったり、不安に思ったり、両方あったわけですが、どうも乗ってみたら、乱気流に巻き込まれた飛行機みたいに行き先も分からないという状態のようです。

今後どうなっていくのかよく分かりませんが、いずれにしても厳しい状態が続いていくと思っています。市も大変でしょうけど、市民の皆様方にこういった状況を十分に説明していただきながら、市民あげてこの難局を乗り切っていきたいと思っていますので、委員各位にはどうぞよろしく願いいたします。

それでは、堂故市長に最初にご挨拶をお願いします。

市長

委員の皆様方には何かとお忙しい中、会議に出席いただきありがとうございます。

今ほど会長からお話がありましたとおり、集中改革プラン Ⅰ については、おかげさまで相当頑張って達成しつつあったわけですが、交付税が予想外に激減されるという中で、残念ながら達成することができませんでした。

昨年、皆様と相談させていただきまして、この集中改革プラン Ⅰ というものを 9 月に基本計画とともに発表させていただいたわけです。

ただし、政権交代が行われて、大変財政運営について見通しづらい。経済情勢も大変激変期にあるということで、基本計画は基本計画として、毎年数字を伴った実施計画を策定して発表させていただくとうたってあったわけです。

今後この 5 年間については、新しいプランにのっとり、行財政改革に取り組むことによりまして、新しい病院の建設など市民の皆様にとって、必要不

可欠な事業を着実に実施するとともに、市を取り巻く社会情勢の変化に柔軟に対応できる持続可能な行政体を目指していきたいと考えています。

おかげさまで長年の懸案でありました新しい市民病院につきまして、4月22日に移転新築工事の安全祈願祭を執り行うことができました。

指定管理者である金沢医科大学の建設ノウハウを発揮していただきまして、相当建設コストを安く抑えることができました。また、患者さんにとっても、働く方々にとってもいいものになるんじゃないかなと思っています。

鞍川の敷地 32,000 平米、地上 6 階、床面積約 21,000 平方メートルの規模で建設いたします。高度医療、地域医療のほか救急医療など、診療機能を充実させ、来年の5月に完成を目指しているところであります。

市の最大の懸案でありました病院のことについて、委員はじめ市民の皆様のご協力をいただけてまいりましたことに対して、改めて感謝申し上げたいと思います。ありがとうございます。しっかりことが進むようにいたしたいと思っております。

今後とも行財政改革の取組みを通じまして、今一番苦しい時期を乗り越えなければならぬわけですが、乗り越えまして、人と自然がなごむ交流都市を作り上げていきたいと思っています。

本日の会議では、市民懇話会の設置要綱の一部改正について、また基本計画に沿って毎年策定することとした実施計画の平成 22 年度版について、ご説明させていただきたいと思っています。

その中から委員の皆様の率直なご意見をお聞かせいただければありがたいと思います。どうぞよろしく願います。

会長

ありがとうございました。それでは、協議案件に入りたいと思いますが、本日の議事録につきましては、これまでの会議と同じく、発言の要旨を委員名を伏せて公表したいと思いますので、あらかじめご了承賜りたいと思います。議事録の作成及び公表に関する事務処理につきましては、事務局の方をお願いしたいと思いますので、よろしく願います。それでは、協議資料を一括して事務局に説明をお願いします。

総務課長

(資料1の説明)

財務課長

(資料2のP.1、2説明)

総務課長

(資料2のP.3以降の説明)

会長

ただいまの説明に対する質疑やご意見、ご提言等がございましたらご発言をお願いいたします。

委員

16 ページの債務総額、22 年度当初の債務残高を分かれば言っていればと思います。

総務課長

21 年度末の数字ですが、527 億円でございます。

委員

市税の現年度収納率目標 98.5%で、平成 22 年の現状はどのくらいです

	か。
総務部長	<p>21年度につきましては最終的な追い込みに入っているところでございまして、実は20年度の収納率が98.7%でございました。</p> <p>21年度は経済状況がかなり厳しい状況でございましたが、かなり近い数字で一生懸命集めさせていただいております。これにつきましては、先ほど会長の方からありましたが、7月か8月にもう少し細かい数字の話をしたいと思っております。</p> <p>確かに現年度は厳しい状況ではございますが、滞納整理で随分実効を上げておりまして、98.7%まではかなり難しいと思っておりますが、それに近い数字で集めさせていただいております。</p>
委員	<p>滞納整理の強化ということで、介護保険料について悪質と思われる重年滞納者への訪問を実施するとありますが、平成21年どの収納率はどのくらいなんでしょうか。</p> <p>それと1号被保険者と2号保険者と比べて、収納率はかなり差ができていますでしょうか。</p>
市民部長	<p>介護保険につきましては、99%を超えていると聞いています。ただし、1号被保険者、2号保険者の収納率については、今のところ分けておりませんのでちょっと把握しておりません。</p>
委員	<p>1号被保険者は年金から天引きになってくるんですよね。介護保険事業計画では、現在は4期目ですよね。1号被保険者については99%の収納率として保険料を決めているんですよ。</p>
市民部長	<p>全体で99%を超えていると聞いていますけれど。</p>
委員	<p>そうするとそんなに大きく落ち込んでいるというわけでもないんですかね。</p>
市民部長	<p>落ち込んでいるということはないと思います。</p>
委員	<p>なぜこんなことをこだわるかといいますと、収納率が下がってしまうと結局、3年間通じての決算をすると不足分が出てくるわけですよね。その不足分が次期の介護保険料に大きく影響してきますんで、99%確保は必要になってくると思うんですが。</p> <p>あるいは2号保険者ですと、景気のあれもあって収納率が落ちるのかなという気もするんですが。これは医療保険に加算されてますよね。国民健康保険の場合はどうでしょうか。国民健康保険も加算でしょうか。それとも別々の請求でしょうか。</p>
市民部長	<p>含めての請求になると思います。</p>
委員	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>それともう一点、前回の懇話会の時にもお願いいたしました。寿養荘のことですね。寿養荘に今、虚弱の一人暮らしの方で年収の少ない方、見守りが必要だという方のグループリビングがあるわけですが、年収が少ないのでケアホームに入ることもなかなか困難なケースもあるものですから、もし寿</p>

	<p>養荘を閉じられるという時には、そういう人達への対応をぜひお願いいたしたいと思います。前回もお願いしましたが、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>市営住宅使用料の収納率について 99.0%を目標とするというのがありまして、その下に現年度の市営住宅の使用料の収納率 99.5%を目標にすると思いますが、この差はどのように理解すればよろしいでしょうか。</p>
総務課長	<p>99.0%を目標とするという部分は滞納繰越分を含んでの数字でございます。</p>
委員	<p>そうすると年度がどれだけになるわけですか。現年度でなくてこの期間トータルで考えるんですか。前年度、前年度、繰り越し、繰り越しですとときてという感じなんですか。</p>
総務課長	<p>そうですね。私が今持っている資料から申し上げまして、滞納繰越分というのは、毎年ちょっとずつはありますので。</p>
委員	<p>それがいつまでか。</p>
総務課長	<p>いつまでかというのは、滞納繰越を不能欠損で落とすまでの期間はどれだけかということですか。</p> <p>私法上の債権ということになりまして、公法上ですと 5 年間なんです、それを超えて、私法上ですから 10 年</p>
財務課長	<p>私法上の債権につきましては、援用を要するものですから、援用がない限りは消えていきません。過去からずっとです。援用があれば消えます。</p>
委員	<p>ということは、プランの最終のところまでどれだけ残っているかという話になるわけですね。</p>
財務課長	<p>滞納繰越については、そういったことになります。</p>
委員	<p>小中学校の再編で、南部中学校の実施設計を 22 年度に行うと書いてあります。目標ですが。実施設計が行われれば、建築は何年後ぐらいにやるものですか。私はなるべく早い方がいいと思うんですが。</p>
教育長	<p>実施設計は 22 年度に予算化されておりまして、近いうちに入札に入ります。それが終了するのが今年度いっぱいという目標をたてておりますので、そうしますと当然、早いうちに私たちはハードの予算要求をして参りますので、うまくいけば来年度にやりたいなという、教育委員会としてはそういった希望を持っております。</p>
委員	<p>やっぱり 2 年ほどかかるわけですね。</p>
教育長	<p>そうですね。これは財政状況とにらみ合わせながらやらなければならないのですが、私たちはそういう思いで財政と相談させていただきたいという思いであります。</p>
委員	<p>分かりました。人づくりのためにもぜひ早期にお願いいたします。</p>
委員	<p>先ほどのことに関連するんですが、例えば 5 年間の目標値を仮設するというんだと思うんですね。最終のページは。どこもそうなのかもしれませんが、例えば担当の課の意識の問題もありますんで、内部ではやっておられるんだと思いますけれども、市税収納率 98.5%にもっていくためには、今年度</p>

	<p>いくら、次年度にはいくらという年度の目標値を起こして、常に意識づけるという考え方はいかがでしょうか。</p>
総務部長	<p>ただいまのご質問でございますが、当然、そのように考えております。</p> <p>特に税に関しましては、先ほど申しましたように、平成 20 年度の収納率、現年度で 98.7%というかなり高い数字でございます。ただ、今、98.5 というのは、どうしてもこのところの景気の悪さとか、離職者の方々も増えておりまして、なかなかこれは難しいということを見込んで、少し落とさせていたいただいております。98.5 という数字は、現在とほとんど変わらない数字でございますので、少なくともレベルを落とさないということを目指し、職員が一生懸命に頑張っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>電子化の推進に関連するのかなと思いますけども、税金の申告の e タックスや e 1 タックスの関係で、富山県の方でも各市町村で納税の「見える化」を進めているわけで、富山県でもうあと 3 つか 4 つなっていないところがありまして、その中の 1 つが氷見市だと思いますが、実際に納税者の利便を考えていただくと非常にいいんじゃないかと思うんですが、いろいろ費用の面があるのかもしれませんが、今後の計画に載せていただければと思います。</p>
総務部長	<p>すいません。今の段階では時期については、検討させていただきますので、ちょっと今の段階では申し訳ございません。</p>
委員	<p>児童遊園の管理で、概要で地元への移管を進めるとあって、22 年度 of 取組みで撤去を進めるとなっているんですけど、22 年度で移管を進めずに撤去だけ進めるといっていいのでしょうか。</p>
市民部長	<p>基本的には撤去の方向で思っておりますけども、移管という部分についてはあまり考えておりません。どちらかといえば、撤去の方で進めていきたいと思っております。</p>
委員	<p>なぜかという、自分には子どもがいるんですけど、実際うちの奥さんと話をしている、周り、地域にそういうのがあれば、子供同士もそうですし、親同士もそこでコミュニケーションをとれると。うちの地区にそういうのがないのであれなんですけど、思ったのは、安易に撤去を進めると子どもの遊ぶ所がなくなるとか、そういったことが出てきたりとかするのかなと思ったんで、どういう方向なのかと思って質問させていただきました。</p>
市民部長	<p>確かに子どもたちの遊び場といいますか、遊具を使つての遊び場は、確かに氷見市は少ないのかなという気はしますが、ただ基本的には、維持管理につきましては、遊具にも耐用年数はございますし、危険な状況になれば子どもたちも危険なことに遭うということもございます。</p> <p>また、維持管理の部分につきましても、地元の方に協力をお願いしたいと思っておりますが、できるだけ必要最小限に留めて、これからの維持管理に努めていきたいと思っておりますので、ご理解お願いしたいと思っております。</p>
委員	<p>久目、速川、明和小学校の複式学級の解消を図るため、地域理解に努める</p>

とありますが、具体的にどういうことを進められていくかということと、もう一つ、保育士の問題で最後のページでしたか、現在 50 名が 27 年には 40 名に減るといっていますが、保育園の統合とかの見通しを聞かせていただければと思います。

教育長

学校の件でございますが、久目、速川、明和、この辺りの皆さん方にいろいろお話しする機会を持たせていただいております。地域の方々のいろんな考え方もございまして、なかなか煮詰まるどころまでいってございません。

というのは、もう一つは、三地区とも学校がございまして、複式が完全になるような状況にございまして、複式がちらつくというような程度ですから、地域の方々ももう少し、早いんじゃないかという気持ちもあるようでして、そういうことでもう少し時間が必要かなと。ただ私たちはこれでやめたということではございませんでして、引き続きそうした話し合いは続けていきますし、そういった取組みをしていきます。

市民部長

保育園の件でございますけれども、現在、上庄保育園と柳田保育園が民営化され、それから柳田保育園とひかり第一保育園と統合がされます。

公立保育園は現在、8 園ありますけれども、やはり少子高齢化ということでございましょうか、子どもたちの数がだんだんと減ってきている。極端な方では、20 人を割っている公立保育園もございまして。

そういったことから見ますと、将来的にはやはり、もう少し統廃合もあるのかなと思っております。

委員

この場で言う話ではないかもしれませんが、小中学校の再編・適正配置ですが、適正配置ということについてもっと突っ込んで考えていただきたいなと思うんであります。

小中学校の再編計画というものも一応できております。その中を見ますと、ここで言う話でもないんでしょうけども、例えば西部中学校と灘浦中学校を北中の方に持ってきていっしょにするような。そうすると氷見市の半分ほどが北中の校下に入ってしまうというような。予算面、財政面もあるんでしょうから、せっかくある学校を利用してということも考えるんでしょうけども。まあ時間がありますからこれから考える話でありましょうけども、ざっと見た段階では、正直なところ、小中学校の将来計画の中では、そんなようなことがあったように思いましたので、将来の氷見市を担う子どもたちを育てていくことに力点を置いて考えるならば、市長、市民病院よりももっと大事なことかなという思いがします。慎重に考えていただきたいなと思います。この会議とは、あまり関係ない話ですいません。

委員

やばな質問をするんですけども、水道料の口座振替の話やまめに滞納者の給水の停止をする話がありましたが、とりあえず口座振替にしても、お金を払わない人がいて、そういった悪質な方は水道を止めて公園の水でも飲んで生活してほしいといった意味で記載してあるのか、その辺を説明していただきたいのと、あと氷見市の方ではちょっと分からないんですけど、給食費の

建設部長	<p>滞納といったものが高岡の方では頻繁にあって、結局は生徒の給食のメニューが下がってくるといったようなことを先生の方から聞いたことがありますので、事情があるのかもしれませんが、簡単にそういったところを説明していただければ参考にしたいと思います。</p>
教育長	<p>まず、水道の口座振替の促進ということがありますが、これは滞納の理由の1つとして、ついうっかりと納めるのを忘れていたという方も結構、多いわけでありまして。そういうものを防ぐために、口座振替に切り替えていただくようお願いしています。</p> <p>それから悪質滞納者の給水停止であります。滞納されている方につきましては、度々納めていただくようお願いしております。何回も何回もお願いしても納めていただけない場合、どういう原因があるのかをある程度調査しまして、ある程度お金が払えるのに払っていただけないという場合には、給水の停止をやりますよという予告等をします。</p> <p>ただし、調べて、どうしても納めることができないんだというご家庭に関しては、給水停止、こういったことはやっておりません。そういうことでご理解をお願いします。</p>
会長	<p>学校給食費の件でございますが、基本的に給食費は各学校単位で、校長の裁量でメニューによって集める金額もそれぞれの学校で違いますし、そういうことでやとりまします。従いまして、今の集中改革プランにこの経費は入ってございません。</p> <p>そういったことでまずご理解いただきたいと思ひますし、先ほど他の市でそういったことがあるというお話をされましたが、私たち教育委員会には、氷見市で滞納しているという話は聞いたことはございません。ただ、家庭の都合で月日が遅れて入るといった話は、若干聞いてございますが、滞納されて残っているとそういう話は、教育委員会としては聞いてございません。</p>
総務課長	<p>それでは、皆さん方のご意見等をいただきましたが、時間となりましたので、協議を終了したいと思います。</p> <p>次にその他に、事務局から何か連絡がありましたらお願いします。</p> <p>1つ事務局から連絡事項ということで、会議の冒頭に会長からもおっしゃられましたが、平成19年度から21年度までの前の集中改革プランにつきまして、平成21年度の決算状況、そういったものを踏まえまして、総括をする必要があるだろうということで、次回は8月の上旬ごろにこの市民懇話会を開催させていただきたいと思っております。文書でご案内いたしたいと思いますので、出席の方、よろしくお願ひいたします。</p>
会長	<p>これで本日の案件は全て終了したわけでございます。閉会にあたりまして、今日の委員皆様のご意見を踏まえながら、市長、一言お願ひいたします。</p>
市長	<p>お忙しい中、時間を頂戴いたしまして、また貴重なご意見をいただきましたありがとうございます。</p>

ほとんどの委員の皆様は、合併しないという選択をして、そして市民病院を公設民営化をするといった、険しい行革を進むといった時の委員もしていただいております。まあ新しく就任いただいた委員さんもおられますが。

今度の集中改革プラン、確かに厳しいんですけども、あの時の状況と比べれば、乗り越えられない改革ではないと思っておりますので、着実にこの改革を進めたいと思っております。

ただ新たに国の施策が相当、見えづらいということ。それから景気状況。そして氷見においては、人口減が大変厳しくなっていて、また集落機能や町内機能が大変心配されるといった状況の中で、行政を進めていかなければならないという新たな課題もこの中に織り込んでいなければいけないのかなと思います。

行革というといつマイナス思考になってしまうんですが、あくまで、今果たさなければならぬ行政課題をするための行革でありまして、氷見らしい元気なまちづくりを同時に、この期間内に強力に進めていきたいと思っています。

その際、今日、ご意見がありましたように、人づくりが大事だと思いますし、私がいつも言っているように、こういう閉塞的な時代だからこそ市民を引っ張るリーダーといわれる人を盛りたてていく、こういうことが本当に大事なんだと。リーダーづくり、リーダーを盛りたてるということが大事なのではないかと、その視点を忘れずに、行革にあたって参りたいと思います。

委員の皆様、本当にありがとうございました。

会長

どうもありがとうございました。

委員の皆様も長時間に渡り、協議いただきありがとうございました。

先ほど事務局からお話がありましたが、次回の懇話会は 8 月頃ということでございますので、ご出席賜れば。本日はこれをもちまして、閉会といたします。お疲れさまでした。
